

せつめい文を よみとる

名前 なまえ

組番 ぐみばん

月日 がつにち

正答数 せいたうすう

5

ねらい

●ことがらの じゅんじよを かんがえながら、
ないようを よみとる ことができる。

もんだい

つぎの 文しようを よんで、あとの もんだいに こたえましよう。

とりの くちばしには、いろいろな かたちを した ものが あります。
きつつきの くちばしは、さきが とがって います。きつつきは、この
くちばしで、木の みきをつついて あなを あけます。そして、中に
いる 虫を とって たべます。

つるの くちばしは、ながく のびて います。つるは、この くちばし
で、ぬまや 田んぼに いる たにしや 小さい さかなを つまんで た
べます。

ペリカンの くちばしは 大きくて、水を ふくむと、下がわが ふくろ
のように ふくらみます。この くちばしに、がぶりと 水を ふくみ、水
と いっしよに さかなを 口の 中に いれます。

どの とりの くちばしも、えさを とって たべるのに つごうの よ
いかたちになっ て います。

よみとりの ポイント

たいせう

せつめいされて いる ことを じゅんばんに よみとりましよう。

とりの くちばし：「いろいろな かたち」を して いる。

たええば？

・きつつき：「さきが とがって います」↓木に あなを あけ、
虫を とって たべる。

・つる：「ながく のびて います」↓たにしや 小さい さかなを
つまんで たべる。

・ペリカン：「大きくて、水を ふくむと、下がわが ふくろのよう
に ふくらみます」↓水と いっしよに さかなを 口
の 中に いれる。

←

「えさを とって たべるのに つごうの よい かたち」

(1) この 文 しようには、どんな ことが かいて ありましたか。つぎの に あてはまる ことばを、文 しようの 中から ぬきだしましょう。

① とりの くちばしの 。

② の とりかた。

(2) きつつき・つる・ペリカンの ①くちばしの かたちと ②えさの とりかた について まとめました。 に あてはまる ことばを、文 しようの 中から ぬきだしましょう。

● きつつき

① くちばしは、さきが とがって います。

② 木の みきを つついて あなを あけ、中に いる 虫をとって たべます。

● つる

① くちばしは、ながく います。

② ぬまや 田んぼに いる たにしや 小さい さかなを つまんで たべます。

● ペリカン

① くちばしは 大きくて、水を ふくむと、下がわが ふくろのように ふくらみます。

② くちばしに、がぶりと 水を ふくみ、水と いっしょに

を 口の 中に いれます。

(3) とりの くちばしに ついて、どんな ことが わかりましたか。 に あてはまる ことばを かきましよう。

どの とりの くちばしも、えさを とって たべるのに

つごうの よい になって います。

もんだい(1)の ①と ②の ことは、
かんけいがある ことだったんだね。



せつめい文を よみとる



(1) ① かたち

② えさ

(2) ● つる

① のびて

● ペリカン

② さかな

(3) かたち

(1) それぞれの とりについて、く

ちばしの かたちと、えさの とり
かたが かいて あります。

(3) きつつき・つる・ペリカンの く

ちばしは、みな それぞれに えさ
をとって たべるのに べんりな
かたちを して いるのが わかり
ます。